

[学会開催報告]第27回日本臨床化学会東海・北陸支部総会  
第35回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会  
連合大会

|       |   |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2017-12-05<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 和田, 隆志<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/2297/46125">http://hdl.handle.net/2297/46125</a>                         |

## 『学会開催報告』

第27回日本臨床化学会  
東海・北陸支部総会  
第35回日本臨床検査医学会  
東海・北陸支部例会 連合大会

The 27th Tokai-Hokuriku Regional General  
Meeting Japan Society of Clinical Chemistry  
The 35th Tokai-Hokuriku Regional Regular  
Meeting Japan Society of Laboratory  
Medicine Joint Meeting

金沢大学医薬保健学総合研究科腎病態統御学  
和田 隆 志

平成28年7月30日(土)、石川県立音楽堂において、第27回日本臨床化学会 東海・北陸支部総会(第35回日本臨床検査医学会 東海・北陸支部例会との連合大会形式)を開催致しました。本学会は、臨床化学に関する研究発表を目的として、毎年東海北陸地区各都市で開催されています。会員相互の学術情報の交換の場として、臨床検査に携わる医師、臨床検査技師、研究者などが参加し、臨床診断部門、臨床検査部門、予防医学部門などにおいて多くの学術的成果をあげています。

今回は、「臨床検査:臨床への新たな視点」のメインテーマのもと、特別講演では、北里大学薬学部生体分子解析学教室の本間 浩 教授から「哺乳類体内のD型アミノ酸について一遊離型と結合型」と題したご講演を賜りました。これまで生体内での役割が十分検討されてこなかったDアミノ酸について、最新の知見をわかりやすくご教授くださいました。数多くの質問も出て、活発に討議されました。

シンポジウムでは「バイオマーカーの進歩」を取り上げて企画しました。司会を本学の酒井佳夫先生と三重大学の森本 誠先生にして頂きました。肝臓疾患領域では、井上貴子先生(名古屋市立大学病院中央臨床検査部)に「肝疾患診断における新規バイオマーカーの臨床的意義」について、動脈硬化・心血管病領域では、北川文彦先生(藤田保健衛生大学病院臨床検査部)に「動脈硬化と心血管リスクを評価するバイオマーカー」について、白血病領域では、梶浦容子先生(名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門)に「白血病のバイオマーカー(検査室における活用と運用)」について、腎臓病領域では、原 章規先生(金沢大学腎臓内科)に「新しいエリスロポエチン阻害因子:抗エリスロポエチン受容体抗体の発見とその特性」について各々ご講演いただきました。八面六臂の活躍をしている第一線の先生がたを講師としてお招きし、バイオマーカーの進歩に関する最先端のお話をうかがうことができました。なお、本シンポジウムは、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「臨床検査領域講習1単位」として認定されました。

一般演題のセッションでは、油野友二先生(北陸大学新学部設置準備室)、新川晶子先生(石川県立中央病院医療技術部検査室)、松本祐之先生(名古屋大学医学部附属

病院医療技術部臨床検査部門)、濱田悦子先生(浜松医科大学医学部附属病院検査部)、關谷暁子先生(金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学講座)、古田伸行先生(岐阜大学医学部附属病院検査部)、竹内竜弥先生(石川県立中央病院医療技術部検査室)、濱田敏彦先生(福井大学医学部附属病院診療支援部、検査部)の座長のもと、「一般検査」「微生物」「臨床化学」「血液」「遺伝子」「免疫」「生理」について、16題の演題が発表されました。若手のみならず、経験豊富な臨床検査医や検査技師にとっても、知見を深める有意義な発表ばかりでした。

ランチョンセミナーでは、石井潤一先生(藤田保健衛生大学医学部臨床検査科)の司会進行のもと、高村雅之先生(金沢大学附属病院循環器内科)に「臨床医から見た循環器バイオマーカーの最近の知見」について、お話いただきました。聴衆は、大変興味深く聞き入っていました。最新の研究成果の一端にふれて頂いたことにも感謝致します。

当日は大変暑い中、北陸地区、東海地区を中心に、日本臨床化学会員、日本臨床検査医学会会員、臨床検査技師、検査機器・試薬メーカーなど、160名を超える参加があり、多くの方々と、活発な討論を行うことができました。本大会で、臨床検査医学の重要性を再認識するとともに、新たな視点をもたらすことができたものと、大変ありがたく存じております。

最後になりましたが、本連合大会を開催するにあたりご協力いただきました日本臨床化学会・日本臨床検査医学会会員、技師会会員の皆様および臨床検査関係企業および地元関係者の方々に、この場をお借りしてあつくお礼申し上げます。

また、ご後援いただきました金沢大学十全医学会、石川県、金沢市、石川県臨床衛生検査技師会の皆様に、心より感謝を申し上げます。

